



無処理区

処理区  
(20kg/10a)

茨城県: 9/28 散布、11/16 撮影 (49日後)

改訂版

# 水稻刈跡防除のススメ



水稻刈跡処理  
未実施区



水稻刈跡処理  
実施区



# Point 稲刈り後の圃場管理にもう一手間加えましょう！ 本田の刈跡処理が翌春の楽な雑草管理に繋がります。

## 刈跡処理のメリット

厄介な多年生雑草の塊茎を増やすのを防ぎます

→ 雑草が塊茎を形成する前に処理する事がポイントです！

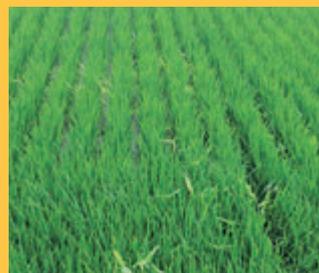
### オモダカの場合



発生個体の防除  
(本田防除)



塊茎形成抑制  
(刈跡防除)



オモダカの  
密度低減

年内に発芽する雑草の防除にはもちろん、再生イネ  
(ヒコバエ)も抑制されます。

→ 翌春の田植えの準備が楽になります！

→ 藁の上から散布可能です



## 散布時期の目安

	9月	10月	11月	12月
オモダカ(塊茎形成抑制)	←————→			
一般雑草(冬生雑草、ヒコバエなど)	←————→			

稲刈り後10日までの  
処理が塊茎の形成  
抑制に効果的!!

## ●適用雑草と使用方法 (一部抜粋)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農薬の総使用回数
水稻 (水稻刈取跡)	水稻刈取跡	一年生雑草及び 多年生イネ科雑草	水稻刈取後 (秋期雑草生育期)	20 ~ 25kg /10a	—	水稻刈取跡に 全面土壌散布	—
		オモダカ		30 ~ 40kg /10a			
水稻 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草及び 多年生広葉雑草	水稻刈取後	20 ~ 40kg /10a		—	
水田作物、 畑作物 (休耕田)	休耕田	一年生及び 多年生雑草	雑草生育期	30 ~ 60kg /10a	—	—	—

●ご使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋等は圃場に放置せず適切に処理してください。